全国旅行業協会会員の現況と課題

一般社団法人 全国旅行業協会会 長 近藤幸二



協会概要

一般社団法人 全国旅行業協会 協 All Nippon Travel Agents Association 会 長 近藤 幸二 東京都港区赤坂4-2-19 本部所在地 シャスタイーストビル 3 階 支 部 数 47支部 設 立 年 1966年 **全国5,350社**の旅行業者 【内訳】(2025年7月1日時点) 所属会員数 (第1種) 60計 (第2種) 2,560社 (第3種) 2,599社 (地域限定) 131社

事業の目的

公正な取引の確保



旅行サービスの向上

旅行需要の拡大 観光業界の発展

ANTA会員の特徴

〈主たる取扱商品〉

団体旅行・グループ旅行が中心

〈営業所所在地〉

都市・地方問わず全国津々浦々で営業

〈営業形態〉

- ・旅行部門従業員数 **5 名以下**の事業者が多い
- ・バス会社などとの兼業事業者も多い

地域に根差した地元の旅行屋

全国旅行業協会



現状•課題

【慢性的な課題】

- ・収益性、生産性が他業界と比較して低い傾向
- 事業主の高齢化が進み、若い後継者が不足
- ・資金不足が常態化しており、将来を見据えた投資が困難

【最近の傾向】

- ・旅行の小グループ化が加速し、団体旅行需要が減少
- インバウンドの急激な拡大で、ホテル等の手配が困難に

次期観光立国推進基本計画に向けて

- 〇旅行需要の平準化(時期別・地域別)と旅行機会の積極的な創出
 - ・ラーケーション等の促進
 - 各地域の特性を生かした魅力の積極的な発信
- 〇生産性を向上させ、人手不足を解消
 - ・観光業界全体としてのDX化の推進
 - 旅行業者の特徴を活かした多角的経営
- ○地方の中小旅行業者の生き残りをかけて
 - ・地域DMO等と連携を図り高付加価値な体験型旅行の造成と販売網の強化
 - ・販売チャネルの拡充、二次交通の整備など地方部へのインバウンド需要の拡充支援
 - 教育旅行、社員旅行などへの手厚い支援を通して団体旅行文化の維持を図る